

たんねんおめでとう いいまち 議会だより



〈3月定例会〉

平成26年度予算を可決

生活に密着した予算 … ② ▶ ⑤

11人が論戦(一般質問) …… ⑩ ▶ ②①

追跡 あれどうなった …… ②①

町民の声を議会へ

マジックは虚をつく錯覚美 …… ②②

議会だよりクイズ (応募まっています)

第65号 平成26年4月15日

発行：長野県飯島町議会

ありがとうございます(飯島保育園)

前年比2.5%増の積極予算 道路・水路の維持補修などがまんも



総額 75億円 全員一致で可決

平成26年3月定例会は、3月6日から20日までの15日間の会期で開催。平成26年度全会計予算、条例の制定・改正や人事、25年度補正予算など20議案、ほかに議会基本条例の一部を改正する発議を審議し、いずれも全員一致で可決しました。

条例1件と請願・陳情3件は総務産業委員会に付託審査し、本会議において「P4の表」に示す結果となりました。

また、一般質問では11人が町政をただしました。

町長の考え(施政方針)

国の経済対策により、急を要する事業を平成25年度に前倒して計上し、平成26年度に実施するため、実質的に大型の予算編成とした。

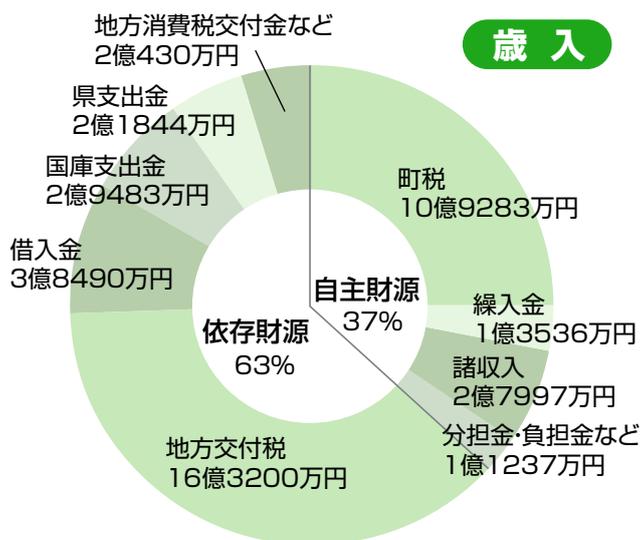
一方、一般財源による道路や水路補修など地域の要望は、一定のがまんを求めた。

目の前の課題に向き合い、4つに重点を置いた予算とした。

- ①若者定住
- ②健康づくりと地域医療確保
- ③安全・安心なまちづくり
- ④環境に配慮した自然エネルギーへの取り組み



一般会計予算の構成

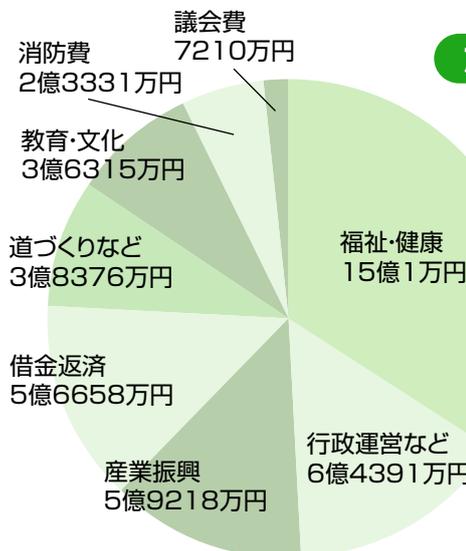


歳入

歳出

全会計予算

会計名	予算額	前年度比
一般会計	43億5500万円	▲0.4%
国民健康保険	9億5300万円	9.6%
後期高齢者医療	1億2179万円	10.9%
介護保険	10億8430万円	7.6%
公共下水道	3億9102万円	10.2%
農業集落排水	2億7835万円	6.0%
水道事業	3億4540万円	▲6.1%
合計	75億2888万円	2.5%



新規事業に期待

健康づくり・

地域医療確保

- 開業医などに融資あつせん 1641万円
- 医療施設開設・拡大への費用助成 1500万円
- 医学生奨学資金制度 月額10万円
- 成人風しん・県外予防接種補助 34万円
- 中学生ピロリ菌検査 6万円
- 役場庁舎と文化館に太陽光発電設備・文化館に非常用発電設備 8000万円
- 戸井場線舗装・下屋敷線のり止め・本郷飯島線道路改良 985万円
- 広域農道歩道整備・舗装改良・橋梁長寿命化事業 766万円
- B&Gプール上屋シートの張替え他改修 1920万円
- 林業センター天井改修補助 237万円

安全・安心なまちづくり

○中学校体育館落雪防止工事 138万円

○消防団員出動手当 32万円

産業振興

○坊主平にトイレ建設 1477万円

○飯島駅周辺からアイタウンまでのエリア活性化の協力隊員費用 373万円

○信金から八十二連絡通路補助 70万円

福祉

○生協診療所予定地「健康運動広場」整備事業補助 3300万円

○コスモス園・やすらぎ指定管理費 764万円

重点プロジェクト 予算

○学校支援コーディネーター配置 116万円

○証明書コンビニ交付 138万円

○まちおこしソング&ダンス 487万円

環境

○自然エネルギー活用との協力隊員費用 369万円

○町内事業者自然エネルギー発電施設設置補助 60万円

賛成意見

- ◆一般質問や審査での意見も取り入れている。
- ◆福祉タクシー券拡大や「いちいの会」の取り組みは評価できる。
- ◆開業医支援は評価できるが、医学生奨学金の拡充を。
- ◆起債の償還を平均化していくことは評価する。教育・健康長寿・在宅支援も心配りがある。
- ◆消費税引き上げの時期に、国保税据え置き姿勢を評価する。
- ◆予算執行の中間報告や道路補修費の計上の仕方は、今後の課題である。広域負担金に新ごみ処理施設が計上されており、注視すべき点はある。
- ◆しかし全体としては、生活密着型の細かい配慮が認められ評価できる。



平成25年度補正予算

除雪費を大幅増額

一般会計

2月の2回の大雪で除雪費が不足した。負担金などの増額もあり、*臨時財政対策債を2910万円増額した。
*注国からの交付金の立て替え払い分

主な使い道

- ・除雪費2000万円
- ・民間企業の設備増設補助金 647万円
- ・障がい福祉サービス給付費 620万円
- ・つくし園負担金 190万円
- ・情報センター負担金 115万円
- ・環境衛生負担金 △105万円
- ・旧コスモ道路用地費 △370万円

審議から

問 障がい福祉サービスの増額要因は。
答 重度化と転入者があつたため。

問 つくし園の増額は。
答 5人から6人に増えたため。

問 豪雪被害対策はどうなるか。
答 国の方向などを見ながら、4月初旬に対応したい。

問 臨時財政対策債の余裕はまだあるか。
答 今回で上限いっぱいになった。

国保会計

医療給付費の増額により補正する。

主な使い道

- ・一般療養給付費 3400万円
- ・退職療養給付費 800万円
- ・特定健診委託料 110万円
- ・予備費△2336万円

審議から

問 給付費が増えている要因は。
答 入院による前期高齢者の医療費が増加したため。

問 情報システム更新の内容は。
答 全市町村統一のシステム更新。

問 情報システム更新の内容は。
答 全市町村統一のシステム更新。

人事

・固定資産税評価審査委員の選任同意

再任 堀越 壽一氏 (飯島)

新任 片桐 邦彦氏 (本郷)

条例改正など

- ・準用河川占用料徴収条例 (今後の準用河川を利用した水力発電に対応。)
- ・特別職の給与改定 (震災復興対応の期限が終了したので、町長・副町長・教育長のカット率を下げ、議員は本則に戻した。)
- ・公聴会などの参考人に支払う実費弁償支給条例
- ・地方税法に伴う町条例の改正 (8条例)
- ・社会教育委員設置条例の改正
- ・議会基本条例の改正
- ・町道の認定と変更
- ・弓道場の指定管理
- ・上伊那広域連合規約の変更同意

陳情・請願の本会議での審議結果

区分	内容	結果
陳情	労働者保護の法整備を	(委員会継続審査)
請願	特定秘密保護法の廃止	不採択 賛成3 - 反対8 賛成 廃止を求める声依然在り。
請願	集团的自衛権の憲法解釈変更反対	国に意見書提出 賛成10 - 反対1 賛成 内容を解釈で変更すべきでない。 反対 人道的道義的趣旨を優先すべき。

活力あるまちへ意気込みを

平成26年度飯島町各会計予算の分割付託分を審査し、全会計を全員一致で可決しました。

一般会計

賛成5 反対0

【総括質疑】

問 道路補修費は毎年500万円が計上されている。しかし決算では毎年2500万円が実績となっている。

町長 住民要望を踏まえ、年間に必要な予算を当初から計上すべきではないか。

町長 住民要望は大切なことだと捉えている。新年度になると新たな要望も生まれ、実際の工事も秋になる。交付税の額が決まらない段階の予算であり、

全体のバランスをとりながら弾力的に考える。とりあえずこれでスタートしたい。

問 ふるさと納税者への贈答品を競うと、市町村間で納税者を奪い合いになる。基本的な考えは。

町長 ふるさと納税は大変ありがたいことだが、過度な贈答はどうかと思う。寄付の一部を、ふるさとのPRと

いうことで贈呈したい。新年度は贈答品目を

増やし、多くの飯島ファンが誕生するようPRしていく。

問 事業用太陽光発電施設の設置補助金の見直しをすべき。個人の設置に比べ補助額が大きい。一般の企業支援の3年に比べ10年は長い。

町長 営利目的で設置するものに対する補助制度としてはどうか。実施年度はいつか。

町長 化石燃料に変わる自然エネルギーの普

及を側面から支援していくことが趣旨。

地元の中でお金が還流するよう考え、企業振興とのバランスを取った。町外の人が設置する場合は対象外とした。10年は収支の試算から判断した。

平成26年4月1日以降の設置施設を対象としたい。要綱の内容はもう一度研究する。

問 定住促進や町の中に活気を出す予算計上は他の市町村でも行っている。同じことをしても効果が薄い。

町長 の思い・意気込みが大切だがどうか。

町長 重点施策のトップに掲げる基本的考え方は空回りしてしまう。地域おこし協力隊や

県への研修派遣職員などのマンパワーを活用し、予算と両面で進めたい。PRの反響をつかみ前に進めたい。

水道会計

賛成5 反対0

◆意見

予算の編成に当たり、企業会計方式の変更に伴う大幅な事務作業を遂行した努力が認められる。

工事が進み、漏水が減少した。健全経営に向けての効果が期待できる。今後も老朽石綿管などの改修を引き続き行い、効率的な運営に努めることを求めている。

農集排会計

賛成5 反対0

◆意見

公共下水道・農業集落排水とも努力の跡が見える予算編成である。しかし人的にはぎりぎりの配置で回しており、緊急時の対応などリスクが考えられる。巨大な債務をどうす

るかということが前面に出ているが、これからは維持補修にも目を配りながら運営されたい。

公共下水道会計

賛成5 反対0

新設条例可決

飯島町準用河川占用料徴収条例

賛成5 反対0

◆内容

町長が管理する町内18の準用河川を占用して使用する場合の、標識の設置及び占用料を定める。

◆意見

占用料の額は県に準じており適正と判断する。今後、自然エネルギーによる水力発電などが行われる可能性を考えると、この条例は必要である。



ふるさとに応援を(お礼の一部)

御座松にトイレ新設

平成26年度予算の主な事業現地を3月14日に視察しました。

側の予定。キャンプなどで訪れた観光客の利便性を高め、観光スポットとしてPRしていきます。

御座松・坊主平
トイレ建設地

場所は与田切川の北



坊主平キャンプ場

JR南割
原畑水管橋

老朽化が進み、改修の必要を感じました。

田切「道の駅」
予定地

特産物の加工販売提供施設ができるのは1300㎡。地域住民のよりどころ・都市住民との交流などで農山村地域ならではの魅力を発信していきます。

ほかに、高遠原の水道管移転予定地、北街道・荒田地籍の道路改良工事場所の視察をしました。
また、豪雪で損傷したガラスハウスの被害状況を視察しました。

採 択 請願 国へ

集団的自衛権の
憲法解釈変更に対

◆ 賛成 5 反対 0

◆ 内容
集団的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対。
日本国憲法は最高規範であり、憲法9条の解釈を、「政府が自由に閣議決定で変更できない」という公式見解が出ている。

提出者 県平和委員会 永井光明氏 紹介議員 坂本紀子

不採 択 請願 国へ

特定秘密保護法の廃止を

◆ 賛成 1 反対 4

◆ 内容
特定秘密保護法の廃止を求める。
12月議会でこの法の慎重な運用を求める意見書を国に提出している。慎重な対応を要請している。

◆ 反対
法案成立時の懸念が現実のものとなっている。問題が明らかになっている以上直ちに廃止すべき。

提出者 県平和委員会 永井光明氏 紹介議員 浜田稔

継続審査 陳情 国へ

労働者保護の法整備を

◆ 内容
「解雇の金銭解決」などを導入しないこと。
派遣労働者を直接雇用に導くこと。
労働政策を政労使で審議

◆ 意見
内容の理解を深める必要がある。
(継続審査に賛成3・反対2)

提出者 連合上伊那 北澤洋二氏

健康長寿の町へ

平成26年度飯島町各会計予算の分割付託分を審査し、全会計を全員一致で可決しました。

一般会計

賛成5 反対0

【総括質疑】

問 新規事業で高齢者の地域活動を支援する

「いちいの会」交付金

制度や福祉タクシー券が適用拡大される。手

続きの簡素化やPRは。

答 全戸配布のチラシを作成する。「いちいの会」申請手続きは極めて簡単にした。

問 民間の介護施設などが増え、社協の事業規模は縮小する。行政の事業を社協に委託で

きないか。

答 過去にも移動販売車を提案したが、事業実施にいたらなかった。社協では事業企画力強化を検討している。

問 介護保険への繰り出しが増えていく原因と対策は。

答 年々認定者が増えている。予防事業の取り組みを強化する。

問 縁故ある医師などを通して、開業医補助金制度のPRを。

答 取り組みたい。全国紙の「医療タイムス」にも掲載された。

問 公共施設の長寿命化にどう取り組むか。

答 各施設の耐震化は完了した。今後、長寿

命化計画を立てていく。

問 病児・病後児保育への対応はどうか。

答 できることは理想であり、伊南行政でも課題になっている。

問 教育に関する新年度の課題は何か。

答 開かれた学校にするため、地域との連携に取り組みたい。

問 コミュニティスクール事業に伴い校長住宅の確保は。

答 検討する。

問 教職員の負担が増している。コミュニティスクール事業で軽減を。

答 教職員が、誇りややりがいがあつて頑張

っていることを理解してもらいたい。地域のサポートも期待する。

問 手狭になっている子育て支援センターの拡張移転は。

答 出張支援もしており、利用が増加しているが、拡張も難しく現状維持。

問 特別保育の現状と課題は。

答 土曜保育は午前中で、午後の要望もある。今後の課題。

問 給食の消費税対応はどうか。

答 1食11円値上げする。現在、給食費の滞納者はいない。

問 飯島陣屋で挙式や宿泊は。

答 挙式希望者があれば協力したい。恒常的な宿泊には課題が多い。

問 飯島陣屋の修復に費用がかかる。ふるさと納税の呼びかけを。

答 対応したい。

問 文化館も経年劣化で不具合が出ている。

答 小ホルルの暖房がその一つだが、見積もりを行い、修繕計画を立てる。

問 傘山の町民登山をしたらどうか。

答 中学生の予備登山も検討したが、トイレがないのが課題。

提案 携帯トイレの普及を飯島から。

介護保険会計

賛成5 反対0

【総括質疑】

問 高齢者グループホームに対する考え方は。

答 町が積極的に行うことはない。民間でグループホームを行う動きがあり、支援する。

なお介護保険サービスの需要は増大するが、現行の保険料で維持していきたい。

後期高齢会計

賛成5 反対0

【総括質疑】

問 保険料の軽減枠が拡大されたが、軽減総額が減少した要因は。

答 所得の高い人が増えたため。

国保会計

賛成5 反対0

【総括質疑】

問 各種検診の受診率向上対策は。

答 電話による勧奨もを行っている。

ようやく着工 交流センター

社会文教委員会

平成25年度補正予算・26年度予算の主な事業現地を3月14日に視察しました。

飯島小トイレ改修

25年度補正事業の飯島小トイレを視察しました。児童がていねいに清掃していますが、排水パイプの汚れで悪臭が漂っています。工事は今年の夏休みを利用して行われる予定です。



高齢者障がい者交流センター基礎工事

B&Gプール屋根 シートの張り替え

経年と今年の大雪で破れてしまった屋根シートを、B&G財団の補助金を得て張り替えます。

高齢者障がい者 交流センター

全国的な資材・人手不足により遅延していた交流センターの工事が始まり、その状況を確認しました。

先進地を視察

先手必勝 を再認識

社会文教委員会

1/22 ~ 1/24

日本一

医師確保対策

島根県津和野町

町立の病院を持つていますが、医師確保は地方の共通の課題です。その対策の一つとして

全国の先駆けて「いじめ等防止条例」を制定しました。大きな問題があったわけではないが、大津市の事例をみて、人ごとではないと先手管理で制定したのです。

行列のできる 議会

議会運営委員会

2/3 ~ 2/4

「ストップ温暖化 条例」を制定

埼玉県嵐山町

議会が中心となり、中学生を含む町内各種団体との意見交換や専門家も交え、全国に先駆けた条例をつくりあげました。

傍聴者には次の議会案内を送付するなど、議会運営の工夫が感じられました。

その結果、年間傍聴者は400人にのぼること。

また12月議会では、当年度予算執行の途中経過をチェックし、次年度予算概要を審議しています。予算編成に議会が積極的に関わる、全国に例を見ない注目すべき取り組みです。

当町の4倍の 議会傍聴者

茨城県 大洗町

プロジェクトで写真や図版を示しながらの一般質問も、議員の半数が活用しているとのことでした。

日本初 いじめ等防止条例

兵庫県小野市

全国的な資材・人手不足により遅延していた交流センターの工事が始まり、その状況を確認しました。

今回の視察を通し、行政は先手先手で取り組んでいくことが必要と、再認識しました。

予算議会（3月）での町長所信表明や総括質疑は日曜日に開催しています。

両町とも全国町村議長会から特別表彰を受けています。

自然エネルギーは地域のもの

臨時議会が2月14日に招集され、条例2件と一般会計補正予算を2つの常任委員会に付託審査し、本会議でいずれも全員一致で可決しました。

飯島町地域自然エネルギー基本条例

飯島町では、議会や町民の後押しと行政の素早い対応で、他に先駆けた条例を制定しました。

基本理念

- ① 地域に存在する自然エネルギーは町民の資源であり、地域の発展に資するよう活用する。
- ② 町、町民及び事業者は、相互に協力して自然エネルギーの活用に努める。
- ③ 自然エネルギーの活用にあたっては、地域内の環境との調和に配慮しつつ、持続性のある活用に努める。
- ④ 自然エネルギーを事業として活用する際には、地域への受益の還元に努め、地域づくりに寄与する。



平成25年度 一般会計 補正予算

1億9901万円を
補正・総額47億85
91万円に

主な補正財源

- 国から
 - ◇福祉施設整備交付金 6840万円
 - ◇住宅改修など交付金 4526万円
 - ◇教育環境改善交付金 1520万円
- 県から
 - ◇農村防災減災補助金 2450万円
- 町債
 - ◇町道整備事業債 1440万円
 - ◇教育施設整備事業債 3040万円

飯小トイレ 改修は夏休みに



もっと快適に

主な使い道

- ◇旧コスモの建物改造など 6840万円
- ◇飯島小学校のトイレ改修 4564万円
- ◇中央道跨道橋の修繕補強5橋 2811万円
- ◇中央道水路橋の耐震設計 2475万円
- ◇町営住宅の耐震改修 2246万円
- ◇道路改良
 - 上ノ原うどん坂 811万円
- ◇千人塚公園水上舞台修繕 137万円

委員会審査から

〈総務産業委員会〉

問 中央道の水路橋設計はどこに委託するのか。
答 ネクスコ中日本に事業委託する。

問 中央道水路橋の耐震事業に3年は長すぎるのでは。
答 町単独でもやるべきだが、有利な補助制度を活用するため。

問 町営住宅の耐震工事の事業完了は。
答 今回の事業で完了する。

〈社会文教委員会〉

意見 設計委託料は予算の範囲内で適正に発注すべき。
意見 国の緊急経済対策を活用し、実施計画を前倒ししたことを評価する。



久保島 巖

いじめ防止

先手管理で条例を

今後検討する 町長

問 町内のいじめなどの実態はどうか。
教育長 今年度で改善解決したもの、指導経過観察中のものが数件ある。児童虐待も数件確認している。

健康福祉課長 高齢者虐待で死亡に至る事故が過去にはあった。わずかではあるが相談も数件ある。

問 兵庫県小野市では民間出身の市長が、経営戦略の4つの柱の1つに「先手管理」を打ち出している。それに基づき、大きな問題が起きる前に「いじめ等防止対策条例」を制定した。この取り組みをどう感ずるか。

問 新年度から医学生

医師不足 対策の強化を

くて先手的な取り組みは、大変注目する事例で評価できる。

問 昨年11月のこども議会で「いじめをしなさせない宣言」が採択された。これを受け、当町も大きな問題が起きる前に先手管理で制定すべきだが。

町長 一歩踏み込んだ形で今後検討したい。教育委員会改革が浮上している。首長が介入する組織も提唱されているようだが、その様子も見ながら検討していくことになる。



こども町長のいじめなし宣言提案

の奨学金制度が追加されたが、この内容では医師不足対策には程遠い。月20万円での他の奨学金との重複も可とすべきだ。また、地元へ帰ることも条件にすべきだが。

町長 他の学部に比べ、就学負担が大きいので、貸与金額も期間も拡大した。医療確保・医師不足の現実に鑑み、ぜひ貢献してもらいたいという期待を込めている。将来にかけ充実していくことは必要であろう。

問 町医師確保のために別枠で制度化する考えはないか。
町長 別な要綱とか条例は考えていない。

問 開業医助成は素晴らしい事業だ。さらに土地や施設を提供する地主・家主への協力金給付を提案するが。

町長 土地の斡旋には町も側面支援する。地主・家主には、それ相当地代・家賃が入る。補助は重複になるので考えていない。

問 開業医の固定資産税の減免措置は考えていないか。
町長 開業医には初期投資に直接補助をする。中小企業に対する固定資産税減免を適用すれば重複支援になるので考えていない。

問 今回の大雪に徹夜で交通誘導した職員を評価する。しかし住民からは不満が出た。除雪範囲やタイミングの見直しが必要では。

建設水道課長 除雪の担当は国道道が伊那建設事務所、幹線町道が町となっている。積雪5cm〜10cmで、国道道の除雪開始を待つて町道も業者が自主的に始めるのが原則。町内業者の能力が限界だった。

問 上通り自治会は11月の時点で、この冬の除雪体制と費用弁償を決めている。

このような取り組みが必要だが。

町長 豪雨災害や台風災害のように地域防災計画での位置づけが必要。行政・地域・個人の役割分担が大切となる。今後整理したい。

除雪対策の 見直しは

(以上3件質問)



竹沢 秀幸

自然エネ 推進

変電所誘致を

地産地消の課題 町長



変電所は送電線の鉄塔付近が適地

問 地域自然エネルギー活用促進に変電所が必要である。

町長 町内は家庭や工場への電気は、駒ヶ根市上赤須の変電所と中川村田島の変電所から供給されている。

変電所は、当該区域の電力需要と供給状況により配置される。誘致するには、企業や世帯数の増加など、

電気需要の拡大が大きくな条件だと認識している。

建設には10億円を超える費用がかかる。しかし自然エネルギーの地産地消に取り組み飯島町としては、変電所誘致は検討課題のひとつだ。

また他の市町村もいろいろと動きがあるので、必要により視察も行う。最終的には基本構想審議会にも諮る。そしてパブリックコメントにより意見を求める。次の後期計画開始に合わせて、できたら27年度の9月議会で議決してもらいたい。

自治基本条例の 取り組みは

問 自治基本条例の策

定に向けての今後の取り組みは。

町長 新年度に検討委員会を立ち上げる。他に住民懇談会やアンケートを実施する。

また他の市町村もいろいろと動きがあるので、必要により視察も行う。最終的には基本構想審議会にも諮る。そしてパブリックコメントにより意見を求める。次の後期計画開始に合わせて、できたら27年度の9月議会で議決してもらいたい。

自殺対策の 取り組みは

問 町内に自殺者が数人でてしまった。うつ状態をどう解消するかが課題だ。セロトニン対策も有効と言われている。

町長 心の相談や音楽療法・ゲートキーパー講座・啓発講演会など

の事業を行っている。相談者は女性が圧倒的に多い。中高年男性の予防の機会をつくるのは難しいが、きめ細かく取り組んでいく。セロトニン不足にならないための対策として、町は乳幼児健診・育児相談・子どもの健康づくり教室・各種の健康教室などを行っている。

町の教育方針は

問 次年度から4年生も英語教育が対象になると聞いている。

町長 国・県からも具体的な方向は示されていない。有識者会議の動向を見守る。

問 中学校運動部の朝練原則廃止に飯島町はどう対応するのか。

教育長 教育委員会や中学校などと協議し、

朝の練習は従来どおり行っていく。県の指針では3時間程度までにとすると定められている。月曜日は行わない、水曜日の放課後は運動部活はやらない、という方針を保護者に周知している。

問 幼児教育の段階からタブレット端末などを活用した教育を。

教育長 タブレット端末を使って、どういった能力を育てるかを考えていくことが大事。学力の向上も含めて総合的に研究してみたい。

ほかに「飯島町民栄誉賞」創設についてただししました。

〔以上5件質問〕



坂本 紀子

大雪の対応

過去の反省生かされたか

1次体制は強化した 町長

通確保を主眼とし、除雪の体制、路線、資機材、区や消防署との連絡体制の確認をした。

除雪延長は昨年よ

除雪機購入補助額の拡大を求める。

また「除雪マニュアル」を作っては。

町長 弱者対応の不足は、福祉的に構築し整理したい。

除雪機購入補助とマニュアル作成は、今年度の反省を踏まえ早急に検討する。

地産地消の推進を

問 生産者と利用者の間にコーディネーターが必要との要望があったが。

教育長 現在検討中。

り延び約51km、融雪剤散布19kmである。積雪5cm〜10cmで業者判断に任せている。

問 高齢者世帯や独り暮らし世帯に対する支援として、シルバー人材活用補助や女性が運

転できる歩行タイプの問 高齢者世帯や独り暮らし世帯に対する支援として、シルバー人材活用補助や女性が運

転できる歩行タイプの問 高齢者世帯や独り暮らし世帯に対する支援として、シルバー人材活用補助や女性が運

（以上2件質問）



夜を徹して

問 13年前の大雪の被害状況と、当時の対応をどう反省しているか。総務課長 1月26日夜から27日で1mの豪雪。被害は死亡1人・床上床下浸水4棟・公共施設の損壊14件・パイプハウス85棟で総額1億2300万円。中央道が60時間通行止め。迂回した大型トラックが、国道や広域農道で立ち往生。路面が圧雪されアイスバーンで除雪に手間取り、約10日かかった。除雪は町道の主要幹線約35km。1次体制は2社で、グレーダー3台・トラクターシヨベル2台、融雪剤散布は1社。最終的に13社が協力。

反省は1次体制を強化すること。高速道路通行止めに対し、迂回路として国道・広域農道を確保すること。道路公団・隣接市町村との連携を強化すること。問 平成12年の行政報告書「主な動き」に、それらを詳しく記載すべきだったのでは。総務課長 今後は記載するように検討する。

問 現在、高齢化率31%で人口や世帯数も減少し、除雪力は低下している。

町としてどのように対策し、国や県への働きかけをしてきたか。総務課長 除雪業者と1次体制の見直しや迂

問 今回、反省が生か



橋場 みどり

広域観光

町はどう進めるか

近隣との連携で 町長

問 駒ヶ根市は広域観光推進へ近隣4市町村連携を進める予定としているが、町はどう考えるか。

町長 各市町村では独自の活動をしている。

一方で、他地区と観光資源を連携する必要がありとの考えは共通認識。

「上伊那観光連盟」では首都圏での物産展、「伊那路の観光連盟」は地域統一の観光パンフレットなどに取り組んでいる。観光協会そのものの連携も必要。

リニア開通に伴い観光客の呼び込みも期待される。今から沿線近隣市町村と商品開発・人材育成など連携を深めながら、後れを取らないようにしていかなければならない。

問 商品開発・人材育成の支援はどうか。

町長 町の観光協会が認定した特産ブランド

品が現在21品目ある。栗をはじめとする果物・米・味噌やそば、酢

に関わるものなど、まだまだこの地域に息づいた大変魅力的な資源がある。

今も特産品支援事業は行っている。さらに関係者と魅力ある地域資源開発への思いを共有しながら、研究に取り組み必要な支援をしていく。

問 町の国際交流の今後をどう考えているか。

町長 JICAジャイカ(海外協力隊)の連携には「協力隊を育てる会」の一員としても加わっている。JICAに関連したことは引き続き行う。パキスタンへのリンゴ技術支援は、政情不安で交流の場の芽が摘まれているが、交流を深めていくことを先方と

も協議し、JICAと共に進めたい。

問 日本中が技術・観光・食など「ノウハウ」を国内外に売り込もうとしている。その取り組みの一環として、駒ヶ根市の大使村構想がある。当町も協力し、アグリネーチャー付近に大使村を造るべきでは。

町長 「勤労者互助会」制度は、中小企業従業員の福利厚生の上を目指すもの。法律に基づく県の労働施策である。「互助会」は、町内一般中小企業の従業員と事業主で組織された団体。

他の国の大使村的な観光要素を取り入れ発信していくことは、スケールの大きな提案だ。新年度から後期計画の策定作業が始まるので、相手先と情報交換をしながら、提案の検討も考える。

加入促進を町のホームページにも定期的に掲載している。啓発をしているが、中小企業全体では加入数が少ない。商工会にもお願いしているが受け止めていただき、更なる加入促進に協力願いたい。

勤労者互助制度の周知を

私も企業訪問の折には資料を持ち、加入のお願いをしてきている。さらに事業内容の理解など啓発に努め、加入促進に取り組む。

〔以上2件質問〕

問 町には「勤労者互助会」などの制度があるが、町民にはあまり知られていない。今後



魅力ある地域資源



北沢 正文

大雪被害

農業継続に支援を

国・県と連携で 町長

問 今回の大雪で農業施設の被害が大きかった。農業継続のためには支援策が必要では。

町長 営農再開や生産意欲向上のため、国・県などと連携し、万全な町の支援策を検討する。

産業振興課長 農作物緊急対策本部の設置に準じた組織で対応する。4月の早い段階で、臨時議会により支援を決定していく。

問 耕地や自治会には毎年除雪交付金が支給されているが、今回の大雪分を加算する考えはあるか。

町長 費用の報告を見て協議する。

公共物の維持補修費の見通しは

問 公共物の維持補修や長寿命化の進め方、費用の見通しは。

町長 老朽化比率は、24年度一般会計決算で62・7%と悪化している。公共施設の建物は、修繕計画を策定している。長寿命化を最優先で行っていく。

今後10年間の老朽化対策費は、公共物全体で48億5千万円を見込んでいる。

問 町内に芽生えた活性化の動きへの対応は。

町長 伊南パイパス田切交差点点への、道の駅機能を伴った集客拠点施設の建設が、大きな町の課題だ。

問 防災施設の要望への対応は。

町長 本郷公民館は避難施設として課題がある。



急がれる復旧

近いうちに対応整備していかねばならない。

問 地元からの多くの要望にどう対応するか。

町長 平成25年度当初で125か所、新年度では更に増える状況で、事業化が追い付いていないのが現状。

要望には緊急性などを最優先し、順位を決めて施工している。水路は「農地・水、保全管理支払交付金事業」で行っていく。

多額の事業費が見込まれるものは、国・県の補助事業などを導入していく。今年度は本郷原井用水と、町内3か所のJ R水管橋の概要調査を行う。

問 「農地・水・保全管理支払交付金事業」で道路舗装は可能か。

産業振興課長 可能ではあるが、水路の改善要望が多くあり、現段階では水路を優先する。

「山の日」に対する考えは

問 県の「山の日」には北信のイメージが強い。町ではどのように進めていくか。

町長 飯島町は山に対する思いがある。新年度で「山の日」の予算を計上した。具体的な内容はこれからだ。

昨年、町内の登山愛好家を中心となって傘山の登山ルートが開設され、インパクトも相当ある。新年度は飯島区の地域づくり委員会による御嶽山の整備事業が計画されている。

山に親しむ企画では、小中学生の山を育てる活動も、教育上の観点から大切だ。

町も精一杯の支援をしていく。

(以上3件質問)



浜田 稔

新ごみ 処理施設

方向転換を

従来路線で縮小を検討 町長

問 上伊那広域連合「ごみ処理基本計画・第3次」の、ごみが増えるとの予測は外れた。ところが昨年末公表の第4次版では見通しの誤りに何の検証もない。この基本計画が、新ごみ中間処理施設の事業規模を左右する。運転経費を含めると約250億円の巨額事業である。

第4次計画は町の費用負担を判断するうえで信頼できるか。

町長 上伊那広域連合も処理施設の規模をいかに小さくするかという立場だ。人口は減つても世帯数が増えるのごみが増えると言われている。

報告は多くのデータを積み上げた数字なので、基本として進めていかざるを得ない。

問 第3次計画は景気回復でごみが増えるという推定をしていた。

しかし、環境省によればごみは過去10年以上にわたって急速に減り続けている。リーマンショック前の景気上昇時でもごみは増えていない。

この間、ごみの減量対策が進んだ。また賃金は下がり続け、つましい生活を余儀なくされている。株価で見るとような景気動向は個人消費にもごみ増加にもつながらないと思う。

人口が減つても世帯数が増えてもごみが増えると言いが、ごみ処理施設が完成する頃には全国規模で世帯数が減ると予想されている。

ところが第4次計画は、大外れした第3次計画と同じ考え方で策定されている。

広域連合に対して問題提起すべきでは。

町長 専門家も含む作業チームで時間をかけて作った計画で、理事会も承認した。指

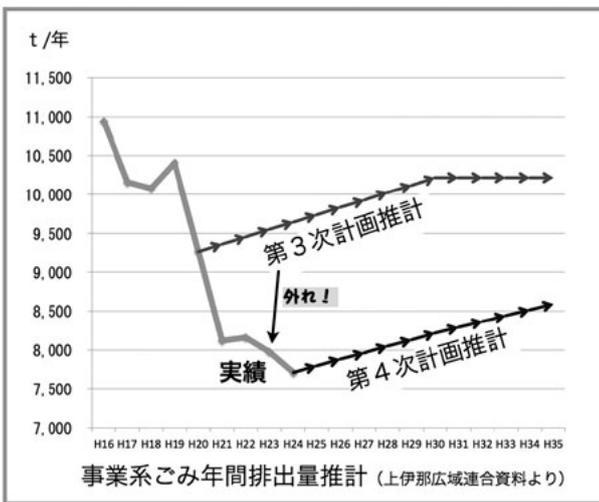
摘の点は作業チームにも戻し、慎重に検討を重ねたい。

問 燃えるごみの4割は生ごみで、大規模処理の取り組みが全国で続けられている。

生ごみの堆肥化、ごみの資源化に重点投資をすれば、焼却炉への投資は半減できる。

住民努力に任せず、大きな政策的取り組みが必要では。

町長 ごみ処理施設の規模決定にはまだ数年



予想は増加・実績は減少

ある。この課題は広域連合の中でもう一度表に出し、上伊那全議員研修で認識を深めることも相談してみたい。

問 上伊那広域では平成11年にガス化溶融炉の方向を定め、以来その具体化を進めてきた。第4次計画でも相変わらずごみが増えるという見方にこだわると、大型設備ありきの巨額な計画だけが進んでいる。ごみの資源化は目標を先送り、生ご

み処理にいたっては前計画の対策案まで消し去るなどの姿勢も問題だ。

対案がある。ごみを半減し処理施設の規模を半分減らす。一方で各市町村にリサイクルセンターや生ごみ処理施設を設ける。そのために投資しても総額は圧縮でき、40人の雇用も生まれる。

経済環境もごみの量も大きく変わった今、事業の方向転換を提案するが。

町長 広域連合では、有識者や各自自治体の担当者も加わって方向を積み上げてきた。それを根拠から覆す考え方には無理がある。これまでは方針に住民の理解を求め、一層の負担軽減を図る方策を進めたい。提案は広域連合に伝える。

(以上1件質問)



中村 明美

ICT活用

学校教育に求めるが

研究していききたい 教育長

問 グローバル社会の現在、子どもたちの未来を考える上で、学校でのICT（情報通信技術）活用が求められている。

検討しているか。

教育長 ICTの重要度が増しており改善の必要は認識している。

当町のICT教育は主にパソコン教室で行っている。4年前ソフト面の充実をした。

職員は情報教育講座や上伊那の視聴覚教育の研修を受けてきた。そして学級授業でプレゼンテーション・グラフ・資料などを活用してきた。

しかし、視聴覚教育の急激な変化に教職員からは「ついていけな

い」との声がある。当町教員のスキルアップが課題で、全面的に導入するのは難しい。また「知識の定着に効果があるのか」と疑問を投げかける学者もいる。

タブレット端末の機動性・拡張性は承知しており、導入すべきか研究をしていきたい。

問 国は、全ての子どももの土曜教育充実を図るために、20億円を予算化した。これを受け、町は学校における授業・地域における多様な学習体験充実にどう取り組むのか。

教育長 この事業は義務でなく教育委員会の判断で行うもの。土曜



タブレット・電子黒板を活用した授業
(長野市立塩崎小学校ホームページより)

授業の実施には社会環境の整備・教職員の勤務体制や費用面の課題があり、早急な実施は難しい。今後慎重に考えていきたい。

学校と家庭の

信頼構築は

問 新年度にあたって、学校・生徒・家庭間の信頼関係構築にどう取り組むか。

教育長 年度当初の授業参観や家庭訪問、保護者との丁寧な情報交換の中で築いていく。

問 家庭・学校がそれぞれの責任を自覚し合うことで、家庭教育と学校教育が良好に進むと思うが、見解は。

教育長 PTA総会や学級懇談会で責任の明確化・役割分担を確認し合うことも大事だ。

健康ポイント

制度導入を

問 平成24年度に健康ポイント制度の提案をしたが、検討状況は。

町長 ポイントとは違うが、来年度新たに高齢者の健康活動交付金

制度を設けた。

問 提案したポイント制度は全成人を対象。駒ヶ根市は次年度、健康ポイント制度を予算化。町民からの声もある。今後検討を。

町長 第一段階として、底辺を広げることの方角性が見えてくると思う。駒ヶ根市の例も参考に検討していく。

長野駅ビルで町の情報発信を

問 新長野駅は、北陸新幹線の金沢延伸を控え、全面改修生まれ変わる。ここに町の情報発信の場を設けられるか、JRの情報収集に努めては。

町長 情報スペースを飯島町が活用することは非常にインパクトがあると思う。今後の情報をつかむよう精一杯努力をしていく。

(以上4件質問)



堀内 克美

農業再建に万全を

歴史的雪害

園芸など全体を支援 町長

問 2月の雪害は郡下一であるが、農業施設の被害状況は。

町長 パイプハウスなどが雪に押しつぶされ全半壊の施設が現在で68棟を数える。

被害額は施設の再建設費で試算し、被害施設の撤去費・農作物被害を含めて約7700万円とみている。

問 これらの被害に対し、国・県は早急に対応策を発表したが、町を含めた支援策は。

町長 国・県が施設の再建設費に70%、撤去費に75%を補助する。

町の支援を含めると再建設費で90%、被害施設の撤去費では全額支援となる。

その他にも農業再開に必要な経費の支援を検討している。

問 パイプハウスなどには、国が50%負担する園芸施設共済がある。

る。果樹共済同様に掛け金補助と加入を推進すべきでは。

町長 園芸施設共済は、経過年数により共済金額が下がるため、再生資金に繋がらないとの意見もある。町単独とはいかないが構成団体全体の問題として考える。

生活道路の舗装促進を

生活道路の舗装促進を

問 圃場整備後30年を経過しているが、宅地進入路となる町道の舗装が進まない。

現在の要望箇所数は、**町長** 要望は69路線。宅地進入路の舗装要望もかなりあるが、舗装工事は1年に1〜2路線実施が精一杯。



郡下一の被害

問 69路線の舗装に要する経費と必要年数は。

建設水道課長 1億から1億5千万円が必要である。1年に1〜2路線実施すると、45年から50年かかる。

問 圃場整備からの年数を加算すると、80年というとんでもない年数になる。

住民要望に応える考えはあるか。

町長 課長は気の遠くなるような年数を答弁したが、そうも言っておられない。財政状況を見て促進していくが、何年で行なうとは明言できない。

精一杯努力する。

広域農道の

県道編入を

問 広域農道は郡下を縦断した道路で、国道並みに1日1万2000台の通行量がある。中央道が通行止めの際には、迂回路として重要な路線にもかかわらず町道である。県道編入に対する動きは。

町長 今までも上伊那広域連合として県に要請している。上伊那道路網検討委員会で県道編入を前提に取り組んでいる。

問 協働の町づくりを掲げているが、住民の自助・共助ではできない。公助が唯一の実施方法である。今の10倍の予算があれば10年できるか。

町長 10年先の確約をすることは難しいが、

問 広域農道整備事業として町単独の調査費が計上されているが、県道編入の支障にならないか。

町長 県道編入には支障がないことを確認している。
〔以上3件質問〕



本多 昇

26年度 予算

経費節減に努めたか

精一杯削減した 町長

問 12月の答弁では、消費増税分は、経常的経費の節減・義務的経費の抑制に努め、編成することだった。結果が見えないが。

町長 前年度当初予算額以下に抑えた。職員

の創意工夫により削減できる支出には、消費税分は予算付けしない方針で臨んだ。

増額要素もあり、精一杯査定してきた。

問 24年度決算の不用額9475万円のうち、経常経費は1981万円だ。

堅実な行財政運営を実施するためには、固定費を削減しなくてはならない。すべての不用額を検証して予算に

反映させるべきでは。

町長 節減努力をして財源を残すことは基本原則。しかし流動的な要素もあり結果として不用額がでることはしかたがない。

極力不用額を縮めていくが、繰り越し財源として活用していく。

問 道路維持費の予算は、6年間毎年500万円。決算は毎年度2500万円〜3000万円である。

監査委員の定期監査では「住民からの多くの要望に対して実施率が非常に低調だ。予算措置等を含めて住民の満足度を高めるべきだ。」との意見だった。予算は実績で計上す

べきだが。

町長 スタート時点の予算では財源調整で定額計上としている。交付税が決まったら弾力的に運用する。

問 ふるさと納税寄付金のお礼対象額3万円以上を、1万円以上に引き下げるべきでは。

寄付者が増えれば町の経費は増加するが、地元特産品でお礼をするので、農家などが潤い町は活性化する。

町長 改善の余地はある。

積極的に道路

改修をすべき

問 昨年7月に「道路の不法占用は危険です」のチラシが配布された。しかし住民の関心は薄く、不法占用物はそのまま危険な状態が続いている。

道路の路肩改修を進めれば、占用物も撤去できる。安全・安心な歩道が確保できるため町は積極的に実施すべきでは。

町長 占用物の撤去が進んでいないことを反省し、啓発活動に取り組む。

建設水道課長 協働のまちづくりで、お互いに納得して道水路改修を進めている。強制的



工事再開を待つ芝宮線

芝宮線道路

改良の再開を

ではなく納得して占用物撤去をしてもらう。

の工事完了後、上通りの部分の工事着工がされず現在に至っている。26年度〜28年度の実施計画にも反映されていない。

問 芝宮線は、七久保

の西山に入る重要な路線で、森林・治山など多くの事業に利用されている。大型車両が数多く行き交い、道幅も狭く、非常に危険な箇所がある。

平成21年南街道部分

町長 総合的に判断し、3か年の計画には入っていないが、5年間の計画には入っている。もうしばらくお待ちいただきたい。

〔以上3件質問〕



折山 誠

豪雪対策

今季課題の対策は

新たに地域と協議する 町長

問 建設業の低迷で業者も減り、除雪力が低下している。また高齢化で、生活道路を地元対応だけで行うことも困難になっている。

町長 今季豪雪をどのように総括しているか。

町長 近隣市町村との連携で、幹線道路は大きな渋滞を引き起こすことなく対応できた。

学校・保育園・福祉施設・高齢者世帯などは所管課で対応し、関係者の協力も得て重大な被害を防げた。

問 特別養護老人ホーム越百園は、中川村と飯島町の境にある。

町長 今季の2回の大雪では、中川村道は早い時期に除雪が行われたが、町道は対応が遅れた。その結果、入所者の救急搬送を心配し、日勤と夜勤職員の入替えにも苦慮したようだ。

町長 中川村の除雪車は村道の境から戻ってしま

った。早く到着した

県や町村が、それぞれの

管理区分や境を越えて

除雪するように協定

を急ぐべきでは。

あわせて、町内その

他の福祉施設や保育園

学校などに通じる道路も、優先的な対応を定めておくべきでは。

また、自治会などの

手の及ばない未加入者の

対策もすべきでは。

町長 それぞれの優先

度など次季に向けて課

題ごと検討する。

問 新年度からのコ

ミュニティースクール

で、有事の児童送迎や

通学路除雪に地域力を

盛り込むべきでは。

教育長 有事における

地域の協力を具体的に

お願いし盛り込みたい。

問 公共事業の減少

や、オペレーターの高

齢化と後継者不足で、

建設重機を手放す業者

が多い。機動力確保の

ために、除雪機維持経

費の支援を行い、機械

減少に歯止めをかける

べきでは。

町長 除雪契約の中で、

保有にかかる経費を積

算するなど、具体的な

支援を検討する。

では。

町長 保有実態を調査

し、有事の保険適用も

含め、支援と活用を地

域・地区と協議する。

問 除雪には、建設業

者や町職員の不眠不休

の活躍があった。

無理な運転は大きな

事故につながるが、急

を要する除雪には機械

をフル稼働させる必要

がある。複数のオペ

レーターが要る。

そのために講習会参

加費用を支援しては。

町長 安全面からも費

用の支援など検討する。

医師確保

対策を急げ

問 町長は、奨学金制

度に医学生枠を新設

し、新年度の医師確保

対策の目玉事業に掲げ

た。

しかし、効果は期待

できないと発言するな

どの姿勢は、町民を欺

くことにならないか。

町長 町内医師確保の効果が

期待できる制度とし

て、拡充を急ぐべきで

は。

町長 効果の即効性は

期待できないが、長い

目で見れば地域の医師

確保につながると思う

初めての試みであり、

制度の運用が軌道に乗

る中で検討したい。

(以上2件質問)



沿線に数十戸が暮らす生活道路



三浦 寿美子

予算の執行状況

12月に中間報告を

折あるごとくにしていく町長

問 茨城県大洗町では、12月議会定例会で当年度事業の中間報告を行っている。

「当年度事業の進捗状況を把握し、予算や事業の改善点をいち早く捉えることにより、次年度予算や事業計画の策定に大きな成果がみ

られた。」(大洗町の議会だより2013年5月29日発行)とある。予算・決算時の審査以外で中間報告している事例である。

ものとなる。中間報告で、議員が予算執行と事業進捗の状況を把握し、意見・提案をすることの意義への考えは。

町長 12月中間報告を実施している自治体があることは承知している。当町では全員協議会で主要事業の進捗を折あるごとに報告している。

計画は毎年ローリングを行い、議会にも示している。

上半期の予算執行状況は定期監査報告書に記載されており、12月議会に議員に配布している。

予算編成前の意見は反映できる。中間報告の必要はないと考える。

問 阿部知事は先の県議会で、子どもの医療費の対象年齢引き上げと窓口無料化を、来年度検討するとした。

福祉医療費の窓口無料化を

子ども医療費の窓口無料化は、全国37都府県が実施している。

問 県外から来たほとんど

町長 3年ごとの実施



いつ病気になるかわからない

どの人は、子どもの医療費を窓口で払ったことが無い。

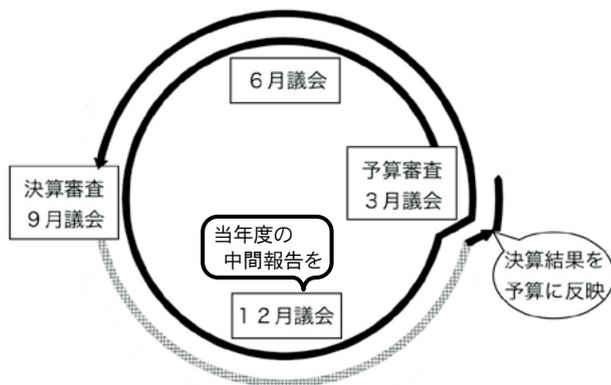
窓口負担は若者定住・子育て支援を進める上の障害となっている。

窓口無料化の研究・検討をしたことがある。

健康福祉課長 県に福祉医療費給付事業事務研究会がある。25年度に今後のあり方への視察など行っており、その報告がある。

・受給者の医療に対する意識が希薄になる。
・気軽に医者にかかるため医療費がふくらみ、自治体の負担が増加する。
・事務手続きが煩雑になる。
・ソフトの入れ替えなどで多額の経費が必要になる。

(以上2件質問)



町財政の予算・決算の流れ

あれどうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情その後の行方

婚活促進・定住促進を (平成24～25年一般質問)

- 問** 定住促進には婚活も重要になる。
答 若者を中心に定住促進を進めたい。

その後

平成26年4月

出会い・婚活推進事業 483万6千円
恋愛・結婚と移住・定住をセットで進める。



風しん予防ワクチン接種費に町助成を (平成25年6月定例会)

- 問** 全国的に風しんが流行している。
高額なので補助制度が望まれる。
答 次年度から実施する。

その後

平成25年9月補正

風しん予防接種費用補助
(妊娠計画者・家族対象) 25万円

医師の確保に奨学金制度を (平成25年9月定例会)

- 問** 町内の医師確保に奨学金制度創設を
求める。
答 奨学金支援より開業支援を優先。

その後

平成26年4月

開業補助金 1500万円
開業資金融資 1641万円
奨学金制度に医学生枠を新設 月額10万円

自然エネルギーは地域が活用すべきでは (平成26年12月定例会)

- 問** 町外事業者に歯止めを。
答 ガイドラインを制定し歯止めと
方向付けの仕組みとする。

その後

平成26年2月

「飯島町地域自然エネルギー基本条例」を
制定。



住宅地に違和感

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆さんに取材協力
願ひ、町政や議会への意見や感想を掲載
しています。

今回は「飯島マジッククラブ」会員林
良雄さんに登場していただきます。

人の喜びが自分たちの喜びに

飯島マジッククラブ の発足

昭和56年11月、公民館活動として「人の虚をつく錯覚美化の高度な文化」と定義して、宮澤大造会長が立ち上げました。

クラブの活動

毎月第2・第4火曜日に例会を持ち、会長指導のもと、新しい情報を取り込みながらそれぞれを持ち芸の技を磨いております。

楽しく練習に励んでいます。



南三陸町防災対策庁舎前

人の喜びは自分の喜びという理念のもとに、いかに人に楽しんでいただけるかを主眼に、何度も練習をして、ひとつずつの技を身につけていきます。

主な活動内容は、保育園・各地区敬老会など地域行事のアトラクションやマジック教室の開催などです。

地域が元気でありますようにと願って、年間二十数回出演をさせていただいております。

昨年は、竹沢秀幸町議さんにご協力をいただき、東日本大震災で大変な南三陸町の仮設住宅二箇所を慰問し、マジックショーを見させていただきました。

会長は自作のジャガイモやねぎなどを支援として毎年お届けしています。

今年も7月に再び訪問を予定しています。

クラブの例会は、追引公会所および文化館で行っておりますので、

議会だよりクイズ

正解者5人の方にいいちゃん商品券を差し上げます。応募の締め切りは6月30日、発表は発送をもって替えさせていただきます。



新年度重点プロジェクト
答〇〇〇〇〇
ソング&ダンス
ご意見など
住所・氏名・年齢

(ハガキ・FAX・いいちゃんポストで)
飯島町役場議会事務局
議会だよりクイズ係宛

マジックに興味のある方は宮澤大造会長(電話86・2089)まで連絡をしてください。飯島町に根ざしたクラブを少しでも発展させたいと思っています。

議会への要望

地道な地域活動が活発になることで町の活性化がすすむと思えます。

町全体にこのような取り組みが広がるように、議会と町が力を合わせていただきたくご期待します。

編集後記

前号から始めましたクイズへのご応募ありがとうございました。ご応募頂きました中から5人の方々へ商品券を発送いたしました。また「議会だより」への感想・意見は今後の編集に役立てて参ります。

発行責任者

議長 松下寿雄

編集委員

◎中村 ○浜田・本多
・久保島・橋場・折山